

第1小委員会

書 写

報 告 書

令和2年7月22日

第12地区教科書採択教育委員会協議会長 程 野 仁 様

第12地区教科書採択調査委員会第1小委員会委員長 豊 田 利 一

先に諮問のあった令和3年度から使用する中学校用教科用図書について、書写の教科書見本本の調査研究結果を次のとおり報告します。

記

1 調査研究の経過

第1回調査委員会（6月29日）

- (1) 配付された4者の教科書について、調査研究の観点や手順を協議した。
- (2) 各者の教科書を調査研究し、次回の選定委員会での検討資料とすることを確認した。

第2回調査委員会（7月9日）

- (1) 調査研究の観点や手順に基づいて作成した調査研究資料について協議した。
- (2) 報告書作成のための準備を行い、次回の調査委員会での協議内容を確認した。

第3回調査委員会（7月16日）

- (1) 作成してきた報告書について、作成の趣旨に基づき協議した。
- (2) 配付された4者の教科書について、報告書を作成した。

2 調査研究の方法

発行者から送付された教科書見本本について、以下の調査研究の観点に基づき、「教科書編集趣意書」及び北海道教育委員会が作成する「採択参考資料」を参考として行った。

ア 「取扱内容」について

- ・学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容及び学年・分野・領域等の目標、内容等に基づいて、正確、適切に取り上げられているか。

イ 「内容の構成・排列・分量等」について

- ・内容の構成が、地域の実態や生徒の生活経験及び興味・関心などに配慮されているか。
- ・内容の排列が、学年の発達段階に応じて、体系的、発展的に組織されているか。
- ・内容の分量が、各分野や領域ごとに適切におさえられているか。

ウ 「使用上の配慮等」について

- ・生徒の学習意欲を高める工夫がなされているか。
- ・自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。
- ・目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は配慮されているか。

3 見本本の総合所見

*主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の対応については、次のような学習活動が取り上げられている。

(1) 東京書籍 「新しい書写」

・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の対応については、「目標」において学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書写のかぎ」を参考にし点画の書き方や字形の整え方について考えたり、自分が書いた文字を使って学習したことを説明したり(第1学年)、点画の省略について考えたり、自分が書いた文字を使って学習したことを説明したり(第2学年)、身の回りの文字の目的と工夫について考えたり、学習したことについて、話し合ったりする(第3学年)など、考えを広げたり深めたりする活動と位置付けている。

(2) 三省堂 「現代の書写」

・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の対応については、学習課題を設定し、見通しをもたせ、字形の整え方と筆使い(第1学年)や、点画の省略(第2学年)、身の回りの文字の工夫や効果(第3学年)について考え、学習したことが他の文字ではどこに使われているかの説明(第1・2学年)や、手書き文字や活字の例を参考にした文字の魅力についての話し合い(第3学年)等の、考えを広げたり深めたりする活動と位置付けている。

(3) 教育出版 「中学書写」

・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の対応については、「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考えよう」を参考にして、筆脈や配列について話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動(第1学年)、点画の省略について話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動(第2学年)、点画の形や方向の変化について話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動と位置付けている(第3学年)。

(4) 光村図書 「中学書写」

・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の対応については、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「学習の窓」を参考にして、漢字の筆使いを考え、点画の種類とその筆使いについて話し合ったり(第1学年)、楷書と行書を比べ点画の省略を考え、省略される理由を話し合ったり(第2学年)、効果的に伝えるために文字の使い分けを考えたり、字体の違う文字から受ける印象やその理由を話し合ったりする(第3学年)など、考えを広げたり深めたりする活動と位置付けている。

4 その他

*各教科見本本の特徴的な内容については、次のような学習活動が取り上げられている。

(1) 東京書籍 「新しい書写」

・各教科見本本の特徴的な内容については、自らの理解度を客観的に評価することができる「書写テスト」や、巻末に教科の学習や日常生活の中でよく使う書式をまとめた「書写活用ブック」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。(全学年)

(2) 三省堂 「現代の書写」

・各教科見本本の特徴的な内容については、学習したことを実際に活用できているかを確認できる「自分の言葉でまとめよう」や、巻末に日常生活や社会生活で使われる書式をまとめた「日常の書式」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができる工夫がなされている。(全学年)

(3) 教育出版 「中学書写」

・各教科見本本の特徴的な内容については、習得した知識を自ら書いて確かめる「書き込み欄」や、巻末に実社会で活用できる基本的な書式をまとめた「書式の教室」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。(全学年)

(4) 光村図書 「中学書写」

・各教科見本本の特徴的な内容については、学習したことを確かめることができる「書写テストに挑戦しよう」や、巻末に日常生活に生かす書式を整理して示した「日常に役立つ書式」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。(全学年)

別紙様式 1

番号 観 点	発行者の番号・略称 2・東書	使用学年 第1学年 第2学年 第3学年	教科書の記号・番号 書写・701	教科書名 新しい書写一・二・三年
取 扱 内 容	<p>○ 硬筆については次のような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・字形を整え、文字の大きさや配列などに注意して楷書で書く活動(第1学年)、はがきの裏面を書くなどの活動を通して、楷書や行書を選んで書く活動(第2学年)、文字の特徴や工夫を考えるなどの活動を通して、効果的に文字を書く活動(第3学年)。 <p>○ 毛筆については次のような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の行書の基礎的な書き方を理解し、身近な字を行書で書く活動(第1学年)、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解し、読みやすく速く書く活動(第2学年)、書体や線の太さなどを工夫し、表現効果を考える活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動(第3学年)。 <p>○ 硬筆と毛筆の関連については次のような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穂先の向きを意識した点画の書き方や行書を書くための筆の動きなど、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動(第1学年)、点画の省略や筆圧の変化と筆脈など、毛筆で学んだことを生かし硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の基礎を身に付ける活動(第2学年)、これまでの毛筆の学習を生かし、卒業に向けた作品を硬筆で書く活動(第3学年)を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については次のような学習活動を取り上げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「目標」において学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「<u>書写のかぎ</u>」を参考にし点画の書き方や字形の整え方について考えたり、自分が書いた文字を使って学習したことを説明したり(第1学年)、点画の省略について考えたり、自分が書いた文字を使って学習したことを説明したり(第2学年)、身の回りの文字の目的と工夫について考えたり、学習したことについて、話し合ったりする(第3学年)など、考えを広げたり深めたりする活動。 			
内 容 の 分 量 成 等 ・ 排 列	<p>○ 内容の構成・排列については次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楷書について点画の書き方と字画の整え方を確かめ、仮名の書き方や字形の特徴を理解して書く活動(第1学年)、行書について筆圧の変化や筆脈を確かめる活動の後に、行書に調和する仮名の特徴を理解して書く活動(第2学年)、身の回りの文字の目的と工夫を確かめる活動の後に、手書き文字の特徴を生かし、効果的に書く工夫を考える活動を取り上げるなど(第3学年)、など、系統的・発展的に学習できるような工夫。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数144ページ(前回より約1%減) 			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 「本のポップ」や「パンフレット」など国語科や他教科と関連を図った教材を掲載したり、「北海道庁」の石碑の写真に掲載したりするなど、学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 自らの理解度を客観的に評価することができる「書写テスト」や、<u>巻末に教科の学習や日常生活の中でよく使う書式をまとめた「書写活用ブック」を掲載</u>するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 学習の進め方についてマークや写真で示すページを設けたり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」「QRコード」を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他	<p>○ 北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の箇所数は3箇所。</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

別紙様式 1

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	15・三省堂	第1学年 第2学年 第3学年	書写・702	現代の書写一・二・三
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 硬筆については次のような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・点画や部分の組立てに注意して書き、文字の大きさと配列を考えて楷書で書く活動(第1学年)、読み手や目的、必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く活動(第2学年)、構成や用具・用材を決め、文字文化の豊かさに触れ効果的に文字を書く活動(第3学年)。 ○ 毛筆については次のような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・点画の丸みや連続に注意して書き、点画の形や方向の変化に気をつけて身近な文字を行書で書く活動(第1学年)、点画の省略や筆順の変化に注意し、筆脈を意識して書き、読みやすく速く書く活動(第2学年)、手書き文字や活字のそれぞれの特徴や表現効果を考える活動を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動(第3学年)。 ○ 硬筆と毛筆の関連については次のような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通し、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動(第1学年)、点画の省略や筆脈など、毛筆で学んだことを活かして硬筆で書く活動を通し、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動(第2学年)、これまでの毛筆の学習を生かし、お気に入りの言葉を硬筆で書く活動(第3学年)を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については次のような学習活動を取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を設定し、見通しをもたせ、<u>字形の整え方と筆使い(第1学年)や、点画の省略(第2学年)、身の回りの文字の工夫や効果(第3学年)について考え、学習したことが他の文字ではどこに使われているかの説明(第1・2学年)や、手書き文字や活字の例を参考にした文字の魅力についての話し合い(第3学年)等の、考えを広げたり深めたりする活動。</u> 			
内容の構成・分量等 排列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・楷書について字形の整え方と筆使いを確かめた後に仮名の字形と筆使いを確かめて書く活動を取り上げたり(第1学年)、行書について筆脈や仮名の形の違いを確かめた後に行書に調和する仮名の特徴を意識して書く活動を取り上げたり(第2学年)、手書き文字や活字による伝え方の変遷を確かめた後に効果的に文字を書くことの必要性について考える活動を取り上げる(第3学年)など、系統的・発展的に学習できるような工夫。 ○ 内容の分量については次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 128 ページ(前回より約8%増)。 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループ新聞や情報誌など、国語科や他教科と関連を図った教材を掲載し、北海道にゆかりのある石川啄木の短歌を掲載する等、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学習したことを実際に活用できているかを確認できる「自分の言葉でまとめよう」や、<u>巻末に日常生活や社会生活で使われる書式をまとめた「日常の書式」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができる工夫がなされている。</u> ○ 単元の基本構成と学習の流れについて説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の箇所数は2箇所。 ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			

別紙様式 1

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年	書写・703	中学書写
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 硬筆については次のような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・字形を整え文字の大きさや配列などについて理解し楷書で書く活動(第1学年)、用紙や書体を工夫し目的や必要に応じて楷書又は行書を選んで書く活動(第2学年)、レイアウトや筆記用具を工夫し文字文化の豊かさに触れ効果的に書く活動(第3学年)。 ○ 毛筆については次のような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・点画の連続と変化に気を付けて書く活動から行書の基礎的な書き方を理解し身近な文字を行書で書く活動(第1学年)、点画の省略や筆順の変化に注意し大きさや配列に気を付けて書く活動から行書と調和した書き方で読みやすく速く書く活動(第2学年)、書体による表現を考える活動から文字文化の豊かさに触れ効果的に書く活動(第3学年)。 ○ 硬筆と毛筆の関連については次のような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・穂先の向きや筆圧を意識した書き方、行書の筆使いなど、毛筆の学習から硬筆で書く活動(第1学年)、筆脈を意識した筆の動き、行書に調和する平仮名の筆使いなど、毛筆の学習から硬筆で書く活動(第2学年)、「3年間の学習の成果を生かそう」等これまでの毛筆の学習を生かした活動(第3学年)を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「<u>考えよう</u>」を<u>参考にして</u>、筆脈や配列について話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動(第1学年)、点画の省略について話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動(第2学年)、点画の形や方向の変化について話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動(第3学年)。 			
内容の構成・排列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・楷書について筆脈や配列を確かめる活動の後に、漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書いたり(第1学年)、行書について点画の連続と配列を確かめる活動の後に、行書に調和する仮名の筆使いを確かめて書いたり(第2学年)、身の回りの多様な表現による文字を見つける活動の後に、見つけた文字の効果についてレポートにまとめる(第3学年)活動など、系統的・発展的に学習できるような工夫。 ○ 内容の分量については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数144ページ(前回より約1%増)。 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「お薦めの本の帯」や「ポップ」などの国語科や他教科と関連を図った教材を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ <u>習得した知識を自ら書いて確かめる「書き込み欄」や、巻末に実社会で活用できる基本的な書式をまとめた「書式の教室」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</u> ○ 学習の進め方の手立てについて説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、「まなびリンク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の箇所数は8箇所。 ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			

別紙様式 1

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容	38・光村	第1学年 第2学年 第3学年	書写・704	中学書写 一・二・三年
				<ul style="list-style-type: none"> ○ 硬筆については次のような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・外形と中心や筆順に注意して書き、点画や組み立てを考慮して楷書で書く活動(第1学年)、場面に応じて楷書と行書を選択して書く活動(第2学年)、文字の使い分けやその効果について考え、文字文化の豊かさに触れる活動(第3学年)。 ○ 毛筆については次のような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・行書の筆使いに注意し、点画の変化や漢字の基礎的な書き方を理解して書く活動(第1学年)、点画の省略や筆順の変化に注意し、漢字と仮名の調和を理解して読みやすく速く書く活動(第2学年)、既習事項を生かして自分の好きな言葉を書いたり、身の回りにある書体の効果を考えたりする活動を通して効果的に字を書く活動(第3学年)。 ○ 硬筆と毛筆の関連については次のような学習活動を取り上げ目標を達成できるようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・筆圧や点画のつながりを意識した筆使い、滑らかに動かすなど、毛筆で学んだことを硬筆に生かし、硬筆の基礎を身に付ける活動(第1学年)、次の画への筆脈を意識した穂先の動き、行書と仮名の調和を意識した筆脈など、毛筆で学んだことを硬筆に生かす活動(第2学年)、これまでの毛筆の学習を生かし、印象に残った言葉や書きたい言葉を書く活動(第3学年)を通して、書写の能力を身に付ける。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「<u>学習の窓</u>」を参考にして、漢字の筆使いを考え、点画の種類とその筆使いについて話し合ったり(第1学年)、楷書と行書を比べ点画の省略を考え、省略される理由を話し合ったり(第2学年)、効果的に伝えるために文字の使い分けを考えたり、字体の違う文字から受ける印象やその理由を話し合ったりする(第3学年)など、考えを広げたり深めたりする活動。
内容の分量構成・排列				<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・楷書について調和する仮名の筆使いや字形を確かめる活動の後、漢字と仮名の大きさや配列を意識して書いたり(第1学年)、行書と仮名を調和させるために筆脈を意識して書いたり(第2学年)、身の回りには様々な文字を確かめる活動の後に、文字の使い分けやその効果について気づいたことを書いたりする(第3学年)など、系統的・発展的に学習できるような工夫。 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 157 ページ(前回より約 31%増)。
使用上の配慮等				<ul style="list-style-type: none"> ○ 「枕草子」や「おくのほそ道」など、国語科と関連を図った教材を掲載したり、五稜郭跡の石碑の写真に掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学習したことを確かめることができる「<u>書写テストに挑戦しよう</u>」や、<u>巻末に日常生活に生かす書式を整理して示した「日常に役立つ書式」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</u> ○ 学習の進め方について写真を示したページを設けたり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他				<ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の箇所数は3箇所。 ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。